

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

---2023年10月3日・第92号---

<目次>

●エルシー跡に超高層マンション計画

■希望する高校に入学できたけれど、夢を阻む高額な諸経費の厚い壁が

▲お知らせコーナー

☆10/8「噂の！東京マガジン」で「西加瀬プロジェクト」をとりあげ。 ☆10/8 講演会「福島原発事故と被曝について学ぼう」

☆10/13 だいじょうぶ？多摩川の安全

☆10/17 南部の地域のまち壊し・ムダ使い現場を見るバスツアー

☆10/21 ゆめシネマ「発達障害ばかったれ」など3本たて

★編集後記

●三井不動産が武蔵小杉北口近くのホテルエルシー跡に超高層マンション計画を発表

8月に、三井不動産レジデンシャルが「小杉1丁目計画」(ホテルエルシー跡)を発表し、9月25日に環境アセス方法書の縦覧を開始しました。

計画では「低炭素誘導ガイドライン」の手続きで、容積率を600%から最大の920%を獲得し、170mの超高層マンションを建てると言うものです。

しかし、もともと三井の計画地は、川崎市が進める「小杉北口駅前まちづくり方針」の中の一角です。三井だけが一方的に開発に着手することは市の方針と矛盾するものです。

<小杉駅北口駅前方針は何だったのか？>

川崎市は2020年10月に小杉駅北口駅前のまちづくり方針を発表。

再開発地域は北口バス停ひろば、小杉会館、ホテルエルシー跡地、旧NECビル(UR)を含む1.5haの敷地を一体的に開発する計画でした。

<市民意見はもう超高層ビルはいらない>

北口方針案に対するパブリックコメントには600件を超える意見が寄せられました。

北口まちづくりの方針案への意見で最も多かったのは、超高層マンションのまちづくりに対する批

判的意見でした。

- 容積率緩和の、高い建物はやめて。
- 子どもたちの遊ぶスペースが軽視され、圧迫感がある無機質な街になった。
- 小杉の昔の面影がなくなり、住みづらい街になってしまった。
- 人口増にインフラが追いついていない。
- 超高層の谷間でなく開放感のあるまちづくりが必要です。
- 台風水害など地形的に無理な場所にタワマン建設は無理があったのでは？
- 風害、複合日影、駅混雑、腹の立つことばかり。
- タワマン建設、人口増は反対です。
- 今以上の日影を作り出さないようにして。

<三井の開発計画のアセス方法書にどう取り組むか？>

こういう中で三井が抜け駆け的に超高マンション計画を発表し、環境アセスメント方法書の縦覧が始まったわけですが、環境アセス方法書とは、国や市の環境保全基準に基づき、これこれの項目で基準を満たすアセスメントの方法を準備します。

と言うもので、これが審議会です承されると、それに基づきアセス準備書をつくりアセスメントを実施するという2段階構成になっており、準備書の段階でも市民意見を募集します。

[今回のアセス方法書](#) へは、11月8日まで意見書を提出することができます。

方法書は川崎市のホームページから閲覧できますが、全体は166頁に及びます。

[目次～3章\(102p\)](#)

4章～ (166p)

皆さんで必要な個所を精査して頂いて、問題個所をチェックし、意見書を出して行きましょう。
方法書の基本的な問題点については次号に述べさせていただきます。

小杉・丸子まちづくりの会 橋本稔

■希望する高校に入学できたけれど、夢を阻む高額な諸経費の厚い壁が

2023年4月に長男が私立高校に進学を決めました。

中学校にサッカー部がなかったために、高校からは大好きなサッカーに打ち込みたいと自らの意志で選択してきました。

親として、その意思を尊重したいと考えましたが、学校案内や見学の中で知れる学校に関する経費の中では、授業料が圧倒的に高いのです。

しかし、私立高校に関して「授業料の無償化」を掲げ 2020 年 4 月から始まった高等学校等就学支援金制度を利用し、授業料が無償となれば、シングルマザーの収入でも通わせられると考え、中学校側に推薦をお願いしました。

息子もまたサッカーを思いっきりできると、入学までの練習会にも積極的に参加し、本格始動までに準備を重ねていました。

親としても、息子の希望を叶えてあげられることがうれしく、また、親としての自信にもなりました。

でも、残念ながら現実はそんなに甘くはありませんでした。

入学後に行われた説明会で、驚くほどの「その他の経費」についての案内がありました。

制服・運動着は一式 11 万。教科書は 3 万 2 千円。ほかに電子辞書 5 万、タブレット 10 万円、入学後の交流合宿費 4 万。学食は利用できず毎日お弁当。

そして、念願のサッカー部での経費には本当に驚きました。

強豪校で、有名スポーツブランドと契約をしていることから、ユニフォームや専用のカバン、移動専用ユニフォーム、ジャージ、ソックス、ランニングシューズ、合宿費、遠征時の交通費。親の後援会費は 6 万円。

これが払えなければ子どもはサッカー部の入部届を受理されません。入ってみなければ知れない部活動を取り巻く経費。

「サッカーがやりたい」の一言で決断しましたが、あまりの出費に私自身の保険を解約しました。

実際、経費があまりにも高く、また今後の見通しも立たないと、入部を辞退された方もいらっしゃいました。

ここのサッカー部はプロを輩出できるほどの強豪校です。

実際、在校生の中にもすでにプロ契約を結んでいる子もいます。

そんな強豪校に入り、サッカーに思いを馳せ、頑張ろうとしているときに、親の経済状況によって夢をあきらめなければならない。

親の経済力の有無は子供の夢をもあきらめさせる、ものすごい破壊力を持っているのだと感じ、とても他人事ではありませんでした。

それでも私立高校はこれまでにない新しい環境でしたので、息子にとってはキラキラと輝いて見えたと思いますし、地元から離れて新しい環境や、人間関係の中に身を置くことで様々な学びがあり、前向きに取り組む姿を見ていると、これを絶やしてはいけない。親としても非常に重責を感じました。

しかしながら、現実には、授業料の無償化とは名ばかり、実際のところは、その他の学校の経費や部活動の経費が多く、補助があるにせよ一時的に膨大な費用請求があります。

やはり公立高校と比較した場合費用は高く、親の経済状況に左右されてしまう可能性が大いにあることを体感しています。

子どものことは親の責任という考えがはびこる日本。

子どもの進学に対する思いを「お金がないから行かせられない」とあきらめなければならない状況は本当に親だけの責任なのでしょうか。

私は、この考え方こそが「親の貧困が生み出す教育格差」に通じていると考えています。

子どもが親の経済状況に左右されることなく、自分の意志でどの教育を受けたいかを自由に選択し十分に習得するためにも、国や自治体が「子どもは未来であり国の宝である」と認識し、平等に質の高い教育環境を選択できるように社会全体が支えていくことが重要だと考えています。

(川崎区のSさんからの投稿です)

▲ お知らせコーナー

☆「噂の！東京マガジン」で「西加瀬プロジェクト」を取り上げます

10/8(日)13時

BS-TBSにて。

噂の！東京マガジンホームページ (<https://bs.tbs.co.jp/uwasa/about/>)

☆福島原発事故と被曝について学ぼう

—原発ゼロへのカウントダウン in かわさき講演会—

「なぜ首都圏でガンが60万人増えているのか!？」

講師:山田國廣/京都精華大学名誉教授

10/8(日)18時より 川崎市総合自治会館ホール

問合せ:044-211-0121(川崎合同法律事務所 三島健)

kibounotubasa@gmail.com(かもした)

☆だいじょうぶ？多摩川の安全

講師:諸橋巧氏(国交省京浜河川事務所 流域治水課長)

10/13(金)14時から 産業振興会館第4会議室

だいじょうぶ？多摩川の安全

主催安全で親しめる多摩川を求める会

080-5653-6196(坂内)

☆南部の地域のまち壊し・ムダ使い現場を見るバスツアー

10/17(火)9時

川崎西口集合

参加費:一般・1,000円

申し込み

TEL 044-211-0391 FAX 044-233-4689

メール h-kougai@fj9.so-net.ne.jp

☆ゆめシネマ「発達障害ばかったれ」「特攻じいちゃん」「おばあちゃんは宇宙人」

10/21(土)

銚子キッズ映画演劇塾:根本銀二監督の世界

① 9時 「発達・・・」45分:「特攻・・・」38分

② 12時 「発達・・・」:「おばあちゃん・・・」55分

③ 15時 「発達・・・」:「特攻・・・」

それぞれアフタートークあり。

※出入り自由とします。

一般:1000円・障がい者:500円・学生以下:200円

044-433-3003 かわさきゆめホール

cinema@kawasakiyume.com

★ 編集後記

インボイス制度が始まりました。

インボイス制度とは、複数税率に対応した消費税の仕入税額控除の方式で、正式名称は「適格請

求書等保存方式」です。

一定の要件を満たした適格請求書(インボイス)を売り手が買い手に発行し、双方が適格請求書を保存することで、消費税の仕入税額控除が適用されるようになります。

ある出版業者が、書き手の執筆者たちにインボイスを求めず、買い手負担でやるという話が、美談のように伝えられています。

買い手である出版業者は、下請けの先生たちに10%の消費税を支払い、更に同じだけの金額を税務署に納めることになります。

執筆者たちは、生活の中で、いくつかの非課税項目を除いて消費税を支払っているわけですから、国は、その分を二重取りすることになります。

これまで課税を免除していた小規模事業者の消費税を買い手業者に負担させるだけで無く、事業者が支払った場合より多い税額を買い手に払わせるというのですから、不当なペナルティーで、ゆすり・たかりと変わりありません。

これほど理不尽でたちの悪い税制は無く、史上最悪の税制と言っても良い。

この制度は、公明党が、食料品への税金を8%にするいわゆる複数税制を政府に求めた際、複数税制の見返りに認める裏取引を行ないました。

いつもなら「庶民の味方」の体裁を繕うため反対にまわりそうな公明党を味方に引き入れた政府は、どれほど大きな反対の声も一切無視して強引に導入してしまいました。

この制度の悪辣さは、これからじわじわと目に見える形で現れてくるに違いありません。

物価高、円安、不況で庶民が苦しんでいるときに増税をすすめる岸田政権の悪政に怒りが収まりません。

マイナンバー・インボイス・原発再稼働。

悪政推進の政治をやめさせるには、やはり選挙で民意を示すしか無い。(Y)

☆☆チェンジかわさき!☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/FZnWF11fjGaO?mail=akagixxx%40yahoo.co.jp

誤って登録解除した場合、以下より再度登録を依頼してください。

mailmag@newkawasaki.jp